第２回郡山市上下水道事業経営審議会　議事概要

日　時	令和８年 10 月２日（金）　午後１時 30 分～午後２時 30 分
場　所	郡山市市役所２階　正庁
出席者	【委員：13 名】 中野和典会長、小林裕子副会長、阿部秀夫委員、太田善雄委員、大槻礼子委員、 長内秀樹委員、佐藤宗良委員、佐藤安男委員、関本賢治委員、富永悟委員、 橋本典子委員、藤沼祥子委員 （オンライン） 明田想平委員 【事務局：20 名】 緑川上下水道事業管理者　外

１　開会	
事務局	第２回郡山市上下水道事業経営審議会を開会する。 今回初めて出席となる２名の委員を紹介する。
２　会長あいさつ	
会　長	本日の審議会は上下水道事業等の決算についての審議となるが、次回は実施計画、財政計画、公営企業会計について行うことになっているため、次につなげられるよう審議をしていきたい。 最終目標の答申までに上下水道について委員の皆様のそれぞれの立場からご意見をいただきたい。
３　審議	
事務局	13 名全員が出席している。 郡山市上下水道事業経営審議会条例第５条第２項により、出席者が過半数であるため、本日の会議は成立していることを報告する。 議事は会長が議長となり進めていただく。
議　長	本日の傍聴者はいるか。
事務局	１名いる。
議　長	傍聴者の入室を認める。
令和７年度上下水道事業会計決算について（資料）	
議　長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料令和７年度上下水道事業会計決算の概要について】説明
議　長	委員から意見等あればお願いしたい。
委　員	Ｑ　料金については、将来予測をベースに算定し議論がなされていくものと考えている。その中で、令和７年度は、水道事業の当初予算における営業収益が 79 億 3500 万円に対して、決算額は 72 億 1100 万円で予算に対し 9%減となっている。また、下水道事業の当初予算における営業収益が 59 億 200 万円に対して、決算が 55 億 4000 万円で予算に対し６％減となっているが、予算額と決算額の乖離についてどのように評価しているのか。
事務局	Ａ　予算額は税込み表示になっているのに対して、決算額は税抜きの金額となっているため乖離が生じている。水道事業、下水道事業とも、税込みの決算額にすると営業収

	益は予算額とほぼ同額であり、計画どおりの収益を確保できた状況である。 　また、将来の人口予測等については、これまでの実績・国の予測等の根拠に基づいて行っている。
議　長	Q　下水道事業会計の一般会計繰入金については適正な幅であるという説明だったが、適正というのは、どのくらいを目安にしているのか。
事務局	A　一般会計を繰り入れる基準は総務省の通知文で示されており、この基準に基づき、下水道事業のうち雨水事業については、全額を一般会計から繰り入れている。また、汚水事業については、維持管理費、資本費（減価償却費と支払利息）があり、維持管理費は下水道使用料で賄うこととされ、資本費は一定の下水道使用料単価を満たしていれば、一般会計から繰り入れることが出来るという基準に基づき繰り入れている。
議　長	Q　最近、関東地方を始めとする水害や八潮市の陥没事故などもあり、下水道の維持管理費が増えているのではないかと思うが、決算に表れているのか。
事務局	A　計画的な雨水計画に基づき整備を進めているため、近年の水害を要因とした直接的な支出はないものの、徐々に雨水関係の整備費用は増えている。
委　員	Q　参考資料１の 18 ページ、下水道事業の建設改良費は「令和２年度以降減少傾向」となっているが、参考資料２の３ページでは「施設は老朽化傾向」となっている。 これは中長期改良計画の中で決定されたものなのか。
事務局	A　下水道の整備や改築は事業計画に則り計画的に進めているが、汚水処理（下水道・浄化槽）は令和８年度に普及率が 95%に達する見込みで、下水道の新規整備は縮小傾向にある。 一方で、下水道施設は年々老朽化が進んでいるため、施設の点検調査を行いながら計画的に改築更新を進めている。
議　長	委員からの質問がなければ審議は以上となる。
４　その他	
議　長	委員から意見等あればお願いしたい。
委　員	テレビで、本市の水道管の老朽化率が 36%で全国平均は 25%と放送していた。地震や物価上昇、水害など予測困難な時代において、徐々に水道料金を上げていかなければ老朽化への対応が出来なくなるのではと感じたが。
事務局	水道管については実施計画に基づき更新しており、管の素材によっても耐用年数が変わってくるため、その点も考慮しながら適切な管路更新を行い、老朽化対策を進めている。
委　員	水道管更新についての市民への PR は現状弱いのではと思うが。
事務局	前回の「こちら郡山じょうげすいどう局」という広報紙で水道料金について広報したが、管路の更新や老朽化対策についての PR も検討していきたい。
委　員	若者から中堅世代に情報を届けるのに果たして広報紙が媒体として適切かというのは考えなければいけないのではないか。 また、札幌市の水道局が遊びながら水道事業を知ってもらうイベントを開催していたのを実際目にしたが、その時以外にも年に何回か様々な活動を通して啓発しているようだった。
事務局	広報紙以外にも SNS やウェブサイト等も活用しながら PR していくとともに、今月 18 日に開催する小学生の親子を対象としたバスツアーなども継続的に実施していきたい。
議　長	努力をしていることを理解してもらえるよう、広報を頑張ってもらいたい。 事務局からその他があればお願いしたい。
事務局	【参考資料５審議会開催スケジュール】説明

議　長	委員からの質問が無いのであれば審議を終了する。
委員一同	意見なし。
5　閉会	
事務局	以上をもって、第２回郡山市上下水道事業経営審議会を閉会する。